

「グループホーム吹田合唱団あおぞら」という奇跡（きせき）

グループホームみちのり 八木澤伸広

2017年7月7日 毎年くる“七夕” 普段と変わらない日常の中、短冊に願いを込め笹に飾りました。その中に“みんなと一緒に大きな声で歌がうたいたい”という願いがありました。書いたのはKさん。Kさんは若い頃から歌が大好きで、コーラスグループで活躍し、いろいろなコンサートホールで歌をうたわれる実力の方でした。80代になった頃から認知症の症状が出始め在宅での生活が困難となり施設へ、そこで誤嚥性肺炎になり胃ろう造設した後、奇跡的に回復し縁あって、みちのりに入所された方です。そんなKさんの願いが短冊には、込められていました。

2017年7月7日をさかのぼること半年前 一人の女性が施設を訪問されました。突然の訪問と凜とした姿に芯の強さを感じる方でした。Fさんは音楽教室を主宰している音楽家の方でボランティア活動のできる施設を探して奇跡的に、みちのりを訪問し縁がありボランティアで演奏会をしていただくことができました。

みちのりに入所されている歌の大好きな利用者の方でコーラスグループを創るという、今までにない高齢者施設の利用者の方が主役になる奇跡のようなコーラスグループの活動を試みることになりました。この活動に賛同し協力していただいたのが音楽家のFさんでした。利用者のKさんを中心に総勢10名の陣容で「コーラスグループみちのり」はスタートをきることになりました。歌をうたっている時の利用者の方の顔は、いきいきとされ、元気いっぱいの歌声がいつもエントランスに響きわたりました。

「わたしにできることプロジェクト」という奇跡、吹田市にあるグループホーム・特定施設で働く職員でつくられた介護者の集い、このプロジェクトの中で「コーラスグループみちのり」はサンクスホールでコーラスを披露するために日々練習を重ね、2018年3月30日 大勢の観客の前でコーラスを発表することができました。観客の前で歌う姿は普段あまり見ることのない利用者の表情は凛々しく清々しい顔ばかりでした。会場に来られた御家族や関係者の方、皆さんが興奮され、感動的なコーラス発表になりました。

このコーラス発表を機に、グループホーム吹田合唱団立ち上げへの機運が一気に高まりました。しかし介護業界の現実は厳しく人材不足や労働環境の問題もあり、なかなか話が前に進みませんでした。そんな中、幾多の困難を乗り越え、いくつかのグループホームが名乗りを上げ「グループホーム吹田合唱団」を立ち上げることができました。現在は4施設が参加し、音楽家のFさん、ピアニストのIさんが各施設を回りコーラスの練習に励んでいます。2018年11月11日には千里市民センター大ホールで「グループホーム吹田合唱団あおぞら」が発表会を行い大感動で幕をおろしました。

「グループホーム吹田合唱団あおぞら」は利用者の思い、ご家族の思い、音楽関係者の思い、各施設管理者の思い、スタッフさんの思い、各関係者の思いがひとつになって実現できた利用者が主役の今までにない奇跡の合唱団です。

この奇跡の合唱団をもっと多くの人に見てもらいたい、そしてこの取り組みがもっと多く施設・グループホームの賛同を得て大きくなることを願い、そしてパナソニックスタジアムやフェスティバルホールで歌うという奇跡を信じて進んでいきます。「グループホーム吹田合唱団あおぞら」に関係される、すべての方に感謝を込めて・・・